

平成 22年度

まちの 予算

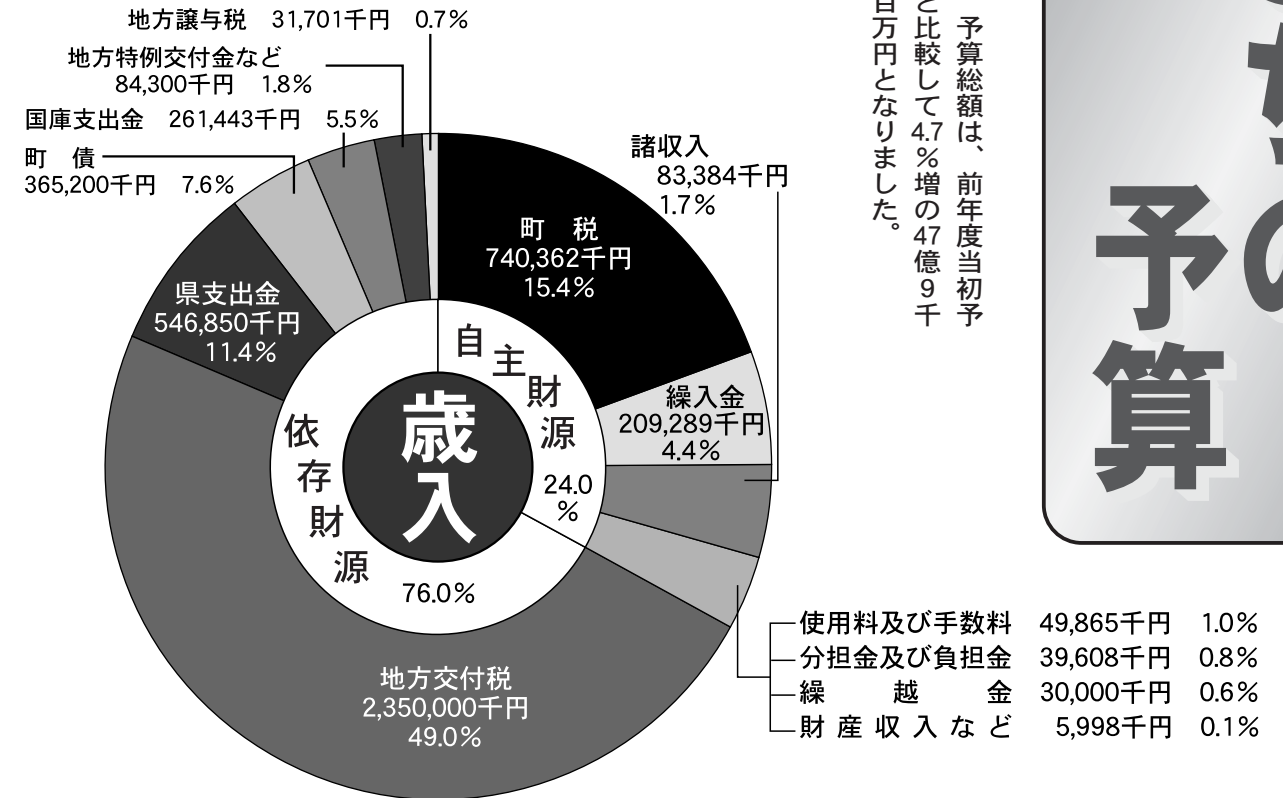
3月の定例議会で、平成22年度予算が成立しました。自主財源は、前年度同様に減少傾向にありますが、限られた予算を有効に活用するよう予算編成を行いました。

果、予算総額は、前年度当初予算と比較して4.7%増の47億9千8百万円となりました。

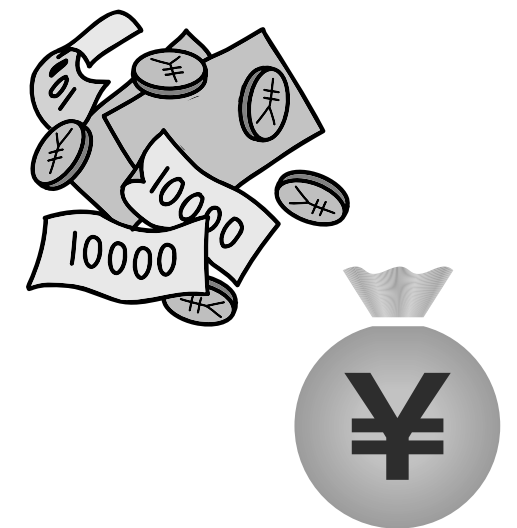
歳入については、長引く不況に伴い前年度に引き続き町税が法人住民税を始めとして4千万円強の減収となると見込んでいるほか、地方消費税交付金なども減収となる見込みです。歳出では、公債費（借金）がピークを過ぎたものの依然として高水準であること、さらには病院事業や下水道事業会計への繰り出しについても高水準であることなどから、平成22年度も基金（貯金）の取り崩しを余儀なくされるなど、依然として厳しい財政状況です。

このような中、林業、農業の振興を重点に予算編成をした結

平成22年度の一般会計予算額は47億9,800万円



■一般会計・・・47億9,800万円
 ■特別会計・・・28億9,912万円
 ■企業会計・・・21億6,842万円
総合計 98億6,554万円



☆自立と協働によるまちづくり

- 百人委員会事業の推進(2,733千円)
住民の町政への参画度を高め、住民と行政の協働作業によるまちづくりを目指します。
- 移住定住の促進(6,684千円)
空き家利活用等により、U・J・Iターン者の受け入れ体制づくりを図ります。
- 1/0村おこし運動の推進(6,137千円)
1/0村おこし運動を推進し、地域の活性化を図ります。
- 第6次総合計画の基本構想策定(1,565千円)
時代に適合した基本構想の策定を図ります。
- 地方道路交付金事業(64,200千円)
町道改良事業を計画的に実施します。

☆安心・安全なまちづくり

- 消費者行政活性化事業(1,100千円)
くらしの相談会を実施します。
- 認知症地域支援体制構築等推進事業(4,283千円)
モデル地域を選定し地域資源マップ作成及び認知症サポーターの養成を行います。
- 自殺対策事業(288千円)
近年増加している自殺に対して防止への啓発を図ります。
- 各種予防接種事業の拡充(11,854千円)
高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の助成を拡充します。
- 智頭病院改革プランの推進支援(450,000千円)
病院事業の経営安定化を図るため、智頭病院改革プランの推進を支援します。

「みどりの風が吹く疎開の町 智頭」をキャッチフレーズに

☆資源を活かしたまちづくり

- 軽トラ朝市実行委員会補助金(490千円)
昨年好評であった軽トラ朝市を今年も実施します。
- 農地制度実施円滑化事業(3,377千円)
農地法改正により農業委員会が農地の利用状況調査を行います。
- ホンモノの農産物づくり応援モデル事業(569千円)
ホンモノの農産物づくりを行おうとする農業者を支援します。
- 地籍調査事業の推進(71,854千円)
地籍調査事業を推進します。
- 智頭材出荷の促進(7,799千円)
原木市場へのはい積料・受け渡し手数料及び県間伐材搬出促進事業減額分に対して助成し、智頭材の出荷を促進します。
- 森づくり作業道の整備(24,688千円)
森林整備に不可欠な作業道を開設します。
- 森林セラピーの推進(68,239千円)
森林セラピー基地等を整備します。
- 緑の産業再生プロジェクト事業(111,800千円)
間伐の促進及び作業道、木造公共施設の整備を行い、林業・木材産業の活性化を図ります。

☆人が輝くまちづくり

- 森のようちえんの支援(5,854千円)
森のようちえんを支援します。
- 子ども手当給付事業(101,240千円)
中学校卒業までの児童・生徒の保護者に手当を支給します。
- 放課後児童クラブの運営(12,911千円)
放課後児童の自主的な生活、遊びを通じた健全育成、仕事と子育ての両立を支援します。
- 小学校統合事業(610千円)
小学校統合への環境づくりを行います。
- 複式学級の解消・33人学級の実施(22,024千円)
小学校の複式学級の解消を図ります。また、中学校の1学級の人数を33人以下として、細やかな学習指導を行います。
- 特別支援教育支援員の配置(6,421千円)
小学校に特別支援教育支援員を配置します。
- 外国語指導助手の配置(10,603千円)
外国語指導助手の2人体制を継続し、英語教育の充実を図ります。

